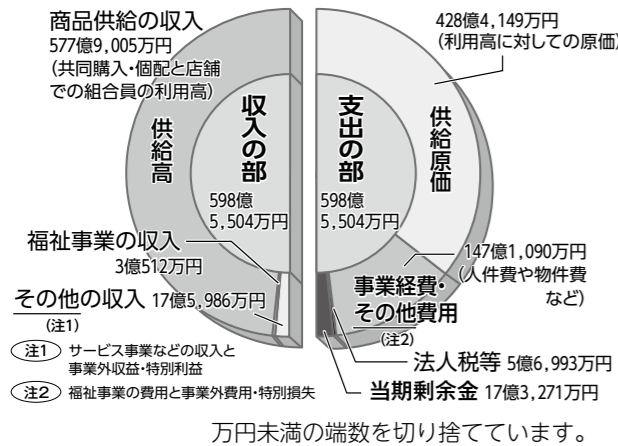
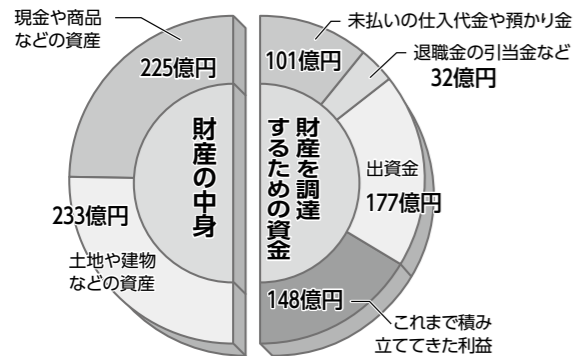


2016年度 事業の結果

2016年3月21日～2017年3月20日までの
1年間の収支状況



2017年3月20日現在のパルコープの財産 459億円



億円未満の端数を切り捨てていますので、
左右の合計は一致しません。

2017年度 事業計画

供給高計画	
共同購入事業	474億 3,000万円
内) 班	190億 3,500万円
内) 個配	276億 2,600万円
内) 夕食宅配	7億 6,900万円
店舗事業	107億 7,000万円
2017年度計画	582億 円



総代会アピール

生活協同組合おおさかパルコープは、平和で心豊かな暮らしを願う大阪のお母さんたちがつくった組織です。市民の暮らしの役に立つ生協でありたいと努めてきました。よりよいくらしと社会をめざして、事業と活動を進めてきました。

2016年の家計消費支出は3年連続のマイナスになりました。円安株高により、輸出企業は空前の利益を上げていますが、その恩恵が生活を潤している実感はありません。

親世代の格差拡大と貧困が、子どもたちの貧困へと連鎖しています。大阪では4.5人に1人の子どもたちが貧困の中で暮らし、成長や教育の機会がおびやかされています。放置できない状況を目の当たりにし、地域の方々やボランティア団体が、子ども食堂や居場所づくりを進めておられます。パルコープも地域のみなさんと連携し、商品事業を行う生協の強みをいかした支援にとりくみます。

世界を見渡しても、利益中心のグローバル経済の結果、格差と貧困が広がり、分断社会が問題となっています。力に頼る政治の台頭によって、戦争と核兵器の緊張が高まっています。核兵器は人類の平和なくらしと共存することはできません。

国連では今、核兵器禁止国際条約の締結に向けた協議が行われています。唯一の被爆国である日本の被爆者の方々は、「生きている間に何としても核兵器のない世界を実現したい」と核兵器廃絶署名を呼びかけています。この「ヒバクシャ国際署名」に賛同し活動をお願いします。

日本の生協は、戦争の悲惨さや戦後の苦しい生活に直面して、「平和とよりよき生活のために」の理念をかかげました。わたしたちは、未来ある子どもたちに思いをめぐらせ、社会の矛盾や問題を見つめます。マスコミの情報だけにまどわされることなく、ともに学び行動していきましょう。

2017年6月6日

生活協同組合おおさかパルコープ 通常総代会

生野支所ができて
生協が身近になった



大阪市E選挙区 総代
北村 孝子さん

長年、天王寺の組合員として近場にお店や組合員施設を要望して

きました。今年3月より新設の生野支所に代わり、今までの港支所に比べて大変近くなりました。職員も楽になり、私たちも組合員活動もしやすく楽になり、配送のエネルギーロスも無しに。それぞれ地域の事情もあると思います。組合員や職員にも歓迎されるこのような事業展開を今後も期待します。

福祉事業・
夢の扉が開きました



大阪市B選挙区 総代
坂上 美枝子さん

国の高齢者福祉をめぐる情勢は大きく変化し制度も転換期を迎え

ています。総代会議案書に大きな決断をされたことが記されています。ここに来るまでに福祉事業は経験を積み重ねられてはいるはずですが、大きな投資となりますが、パルコープらしい新福祉事業を進めてほしいです。地域に支持され、医療生協などつながりをいかにして福祉の扉を開けてください。

みんなの力で、パワーアップ



大阪市B選挙区 総代
川上 朋美さん

子育てがサポートステーションの活動の中に「子育て

ぽか・すくすく」があります。育児をしている当事者だけでなく、いろいろな世代が親と一緒に子どもの成長を見守り、親子の成長を応援する、そんな子育て支援の輪が広がればと思います。子育て支援を強めるために、組合員のネットワークやみなさんの力をぜひお貸しください。

ピースリレーに参加して



大阪市B選挙区 総代
丸山 裕美さん

広島・長崎に原爆が投下された日は暑く、被爆された方々の事を

思うと一日歩く暑さなど比ではないと今まで7月にピースリレーを行なってきましたが、熱中症の危険もあり今年から5月に。みんなで新緑の御堂筋を歩きました。被爆された方々が核兵器廃絶を心から求め署名を訴えています。大きな世論として国連に届く「ヒバクシャ国際署名」に署名しましょう。

発言を受けての理事会のまとめ(要旨)

文書発言30件の発言をいただきました。議案を深める意見と受け止め、具体的な改善要望の真意に添えるよう、今年の事業で努めてまいります。

組合員活動について

一人ひとりの知恵と力を寄せ合い、「これまで誰もが通ってきた道、これから誰もが通る道」と、活動を広めていきたい。時の権力やマスコミの言説をうのみにせず、自分たちで学びあい、自分の頭で考えること。まさに地域の民主主義の学校としての組合員活動が大事だと考えます。

平和のとりくみについて

「ヒバクシャ国際署名」は、7月末に全組合員さんへ署名を配布して取り組みます。組合員さんのさまざまな取り組みを通して、核兵器禁止条約制定に向けて署名を広げていきたい。

フードバンクについて

大阪の子ども食堂に継続的に食材を提供し支える生協のフードバンクを、2018年開設に向けて準備を進めます。食べられていない子どもたちの貧困は現代社会のひずみ、とくにパルコープエリアでは待ったのきかない緊急課題です。

食の安全について

安全は商品検査やトレーサを徹底していくとともに、引き続き組合員さん・職員・生産者のみなさんとの三位一体の活動を通して、信頼関係を作る中で安全を担保していきたいと思えます。

共同購入事業について

選び易い商品カタログや、ひと手間でも家の味となる、惣菜や加工食品の改善開発を進めていきます。特に、子育て・ファミリー層の組合員さんに向けた商品提案を重点に進めていきます。

店舗事業について

地域で来店される組合員さんが求める商品の品ぞろえを徹底して進めていきます。食事のお手伝いができる店に深めていきながら、今後の出店にいかしていきます。

福祉事業について

都島の自前の土地を活用して、新たな福祉施設を2018年開設に向けて準備を進めていきます。地域と医療生協との連携共同をこれまで以上に重ねていきます。

職員について

職員の退職に補充が追いつかず、組合員さんに迷惑と心配をかけています。組合員さんとの対面時間の確保と、それを阻害している配達環境の改善として2020年に向けて新たに3支所の開設と軽車両の導入などをすすめていきます。

支所職員の商品開発や、産地見学、生産者のみなさんとの交流を重ねていきます。生協の事業、私たちの仕事を選ぶのは組合員さんです。その組合員さんが選ぶ最大の要因は、目の前の担当者の対応・配慮にあります。担当者からの「先週の商品はどうでしたか」の声かけに、気軽に困りごとを言えて、それに親身に、要望には誠実に応える職員が組合員さんの「ありがとう」を生み出しています。組合員さんの「ありがとう」が職員の成長を育てます。そのような職員が事業の主役となるように常勤役員一丸となって現場の奉仕者となり、具体的に改善・改革を行います。